

保育実習指導 I	2年	前期・後期	形態 単位数	演習 2 単位	担当教員名	齋藤亮一・鈴木永二 大平雅弘・小玉幸助
	卒選	幼選 保必				
<p>① テーマ : 保育実習の意義・目的・実習の内容を理解し、課題を持ち、実習を体験し、新たな課題や目標を明確にする。</p> <p>② 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習の意義と目的、内容を認識し、保育所・施設実習に必要な専門知識、援助技術を理解し、実習に生かすことができる。 ・保育実習への基本姿勢、実習に必要な書類や手続等についての理解を深める。 ・実習施設における子どもの人権と最善の利益を考慮し、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 ・保育実習を体験し、その反省を踏まえ、新たな課題や目標を明確にし、課題解決の学習に取り組んでいく。 						
<p>授業の概要</p> <p>保育実習を円滑に進めていくための知識・技術を習得し、学習目標・課題を明確にするとともに、保育実習の位置づけ、各保育実習の福祉施設の目的や保育士の保育の基本・業務などを学び、実習に際して、事前・事中・事後においてなすべき内容を理解し、保育実習の全体を把握する。</p>						

授業計画

コマ	項目	内 容
第1回	保育実習指導の概要のオリエンテーション	・保育実習の意義・目的・内容の理解 ・保育実習の年間プロセス・手続・日程の確認
第2回	保育所実習事前訪問の目的と方法	・実習先事前訪問の目的・方法・内容、心構え ・実習先の実習受け入れ体制
第3回	保育所実習の内容と方法	・観察・参加・責任実習の各方法の目的・内容の理解
第4回	保育所実習の内容と方法	・実習指導計画の立て方、実習記録の目的・方法
第5回	部分・責任実習の内容と方法	・保育所（園）の1日の流れと保育士の活動 ・部分案・日案・月案の理解と作成
第6回	部分・責任実習の内容と方法	・部分実習指導案、全日指導案の作成
第7回	実習での基本姿勢	・実習の心構えと実習先から求められる実習姿勢
第8回	施設実習での意義と内容	・福祉施設の種類・各施設の特徴と相違点
第9回	施設実習での意義と内容	・施設実習の意義と内容の理解
第10回	施設実習事前訪問の目的と方法	・実習先事前訪問の目的・方法・内容、心構え ・実習先の実習受け入れ体制
第11回	施設実習の内容と方法	・施設実習の捉え方、学習の形態と対象
第12回	施設実習の内容と方法	・勤務者としての心構え、見学・観察・参加・部分・全日実習について
第13回	施設実習の内容と方法	・施設養護における処遇の展開、記録・日誌の意味と方法
第14回	実習直前指導（保育所）	・各自にとっての保育所実習の意義の明確化 ・実習に向けての最終確認と終了後の手続について
第15回	実習直前指導（施設）	・各自にとっての施設実習の意義の明確化 ・福祉施設労働の意味 施設児の周辺 最終確認と終了後の手続について
第16回	事後指導	・実習で実践したことをまとめる。 （保育所・施設実習を終えての反省と感想、今後の課題と目標）
第17回	事後指導	・実習を終えてのレポート作成（保育所） ・実習新聞の作成
第18回	事後指導	・実習を終えてのレポート作成（施設） ・実習新聞の作成
第19回	事後指導	・実習新聞の作成
定期試験	定期試験なし	
テキスト	「保育実習の手引き」宮城県保育士養成校連絡協議会、「教育・保育・施設実習テキスト」健帛社	
参考図書	保育所保育指針解説書	
教員の 評価方法	学習への関心・態度（20%）、指導案、レポート、実習新聞等の課題の内容（80%）により総合的に評価	
準備学習等 履修上の留意点	授業後の課題、次時の学習準備	